

浦幌町立博物館だより

令和3(2021)年2月号

編集・発行：浦幌町立博物館 ☎089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1 / ☎015-576-2009 / ✉museum@urahoro.jp

「一度も借りられていない本」展



↑『日本の海岸植物図鑑』机上版(左)と、持ち運びに便利なサイズのフィールド版(右)。



浦幌町立図書館では、ただいま「一度も借りられていない本」展を開催中です。3月末日まで。

そもそも図書館とは、元来、本を借りる場所というよりも読む場所。貸りずに読む人や、調べ物で使われる本もたくさんあり、貸出だけで本の評価が決まる訳ではありません。

とはいえ、この機会にその存在を、

広く知っていただき、自宅でゆっくり読んでみようという方にお薦めしたい本がたくさんあります。

ご自身も曹洞宗僧侶である吉田時夫さんの『曹洞宗と天皇制を考える』は、大逆事件での僧侶逮捕をはじめ、天皇制と宗教との関わりを深く論じています。災害と文化財についての研究書『都市災害と文化財保護

法制』では、まだ記憶に新しい、フランスのノートルダム大聖堂火災の報告が載っています。『日本の海岸植物図鑑』は、実は姉妹編の大判図鑑が参考図書コーナーに。野外用のフィールド版が、新たに出版されました。

ほかにも面白い本がたくさん。さあ、あなたもいちど図書館へ!

(浦幌町立博物館 学芸員 持田 誠)

「コロナな世相」を伝える

こんな資料を集めています!

新春初売りとコロナ



新春初売り広告にも、新型コロナウイルスの影響が見られました。

左は「コロナ対策商品」の文字が見える町内の文具店のお知らせ。右は混雑緩和のために福袋の販売をとりやめた大型電器店の広告です。

感染拡大の続くお正月の雰囲気伝える資料です。

(浦幌町立博物館所蔵)

Pick up BOOK [注目の本]

図書館から

『無戸籍の日本人』 2016年1月10日発行

井戸まさえ(著) 集英社刊 A5判上製力パー 381頁



日本には戸籍のない人が1万人以上いることを知っていますか?

多くの人々にとって戸籍があるのは普通のことと思うかもしれませんが、しかし、戸籍が無いとどのような問題や困難が生じるのか想像つくでしょうか?

本書は、制度上「存在しない」人々について焦点を当て、日本が抱える歪みが記されています。去年の9月、大阪府高石市で無戸籍の高齢女性が餓死したというニュースがありました。ぜひ本書を読んで、無戸籍問題に関心を持ってください。

(浦幌町立図書館 司書 山崎菜摘)

【図書館での配架場所】

社会科学コーナー

分類記号→ E324.81